

【家庭数配布】

小中一貫校 南アルプス市立白根飯野小学校

学校だより

桜梅桃李

【学校教育目標】

～ 郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども ～

【9年間で目指す児童像】

～ 思いやり, 創造力, すこやかな体をもち,

未来を担う 白根こまっ子 ～

令和8年4月17日 No1 文責 神宮司 剛

令和8年度スタート～小さなチャレンジが動き出す春～

春のやわらかな光の中、白根飯野小学校の新しい一年が始まりました。4月6日には新任式・始業式を行い、7日には35名の新一年生を迎えて入学式を行いました。新しい教室、新しい友達、新しい先生との出会いに、子どもたちの表情からは、期待と少しの緊張が伝わってきました。



始業式では、今年、子どもたちに大切にしてほしいこととし

て、「**小さなチャレンジ**」について話しました。チャレンジといっても、特別なことである必要はありません。いつもより少し元気にあいさつをする。少し勇気を出して手を挙げる。友達に自分から声をかけてみる。そんな毎日の小さな一歩が、子どもたちを少しずつ成長させていくことを伝えました。もちろん、やってみてすぐにはうまくいかないことがほとんどです。けれど、失敗はだめなことではなく、できるようになるまでの大切な途中であること。昨日の自分より少しでも前へ進めたなら、それは確かな成長であることも伝えました。

本校では、子どもたちに大きな成功を急がせるのではなく、昨日の自分より少し前へ進む「小さなチャレンジ」を大切にしています。うまくいかないことがあっても、やり直したり、助けを求めたりしながら、少しずつ成長していける成長の過程が重要です。今年度も、白根飯野小学校は、246名、一人一人の歩みに寄り添いながら、子どもたちが「やってみよう」と思える毎日を、教職員みんなで支えてまいります。

なお、私自身もこの春、白根飯野小学校に着任いたしました。学校だより「桜梅桃李」を通して、子どもたちのがんばりや学校での様子を、少しずつお伝えしていきたいと思います。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

新しい物語のはじまり～35名の新一年生を迎えて～

4月7日、入学式を行いました。春の花々に迎えられ、35名の新一年生が白根飯野小学校の仲間入りをしました。

少しどきどきしながらも、しっかり前を向く一年生の姿に、これから始まる小学校生活への楽しみが感じられました。勉強や給食、友達との毎日、運動会や遠足など、これからたくさんの「はじめて」が待っています。

入学式では、一年生の皆さんに「やってみよう」という気持ちを大切にしてほしいと伝えました。はじめから何でもできなくて大丈夫です。まちがえたり、うまくいかなかったりしながら、子どもたちは少しずつできることを増やしていきます。うまくいかなかったり、困ったりしたときには、

先生や友達に「たすけて」と言えることも、大切な力の一つです。小学校は失敗や成功を繰り返し経験しながら、その経験をもとに成長していく場でありたいと願っています。

新入生保護者の皆様、このたびはお子様のご入学、誠にありがとうございます。お子様一人一人の六年間の歩みが、実り多くあたたかなものとなるよう、教職員一同、心を込めて支えてまいります。



新しい仲間を迎えて～笑顔ひろがる「1年生を迎える会」～

4月16日（木）、1年生を迎える会を行いました。

この会は、6年生と児童会本部が中心となり、1年生をあたたかく迎えるとともに、全校のみんなが楽しい時間を過ごせるよう、心を込めて企画・運営してくれたものです。

会の中では、1年生が一人ずつ、自分の名前や好きなことなどを交えながら自己紹介をしました。少し緊張しながらも、しっかりと自分のことを伝えようとする姿は大変立派で、会場は自然とあたたかな拍手に包まれました。

その後は、児童会本部6名による「飯野レンジャー」が登場し、学校に関する〇×クイズで会を盛り上げてくれました。全校児童が一緒になって考え、笑顔で参加する様子からは、新しい仲間を迎えたうれしさと、飯野小学校らしいあたたかなつながりが感じられました。

短い準備期間の中で工夫を重ね、会をつくり上げてくれた6年生と児童会本部のみなさんの姿は、とても頼もしいものでした。堂々とした進行や、1年生をやさしく支える姿に、学校の最上級生としての自覚と成長を感じました。1年生を迎え、令和8年度の白根飯野小学校246人の歩みが、また一つあたたかく動き始めました。今年一年、子どもたちが互いを認め合いながら、安心して挑戦し、ともに成長していけることを楽しみにしています。

